

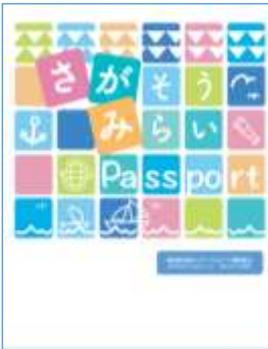
～さがそうみらいプロジェクト～

キャリア教育だより



発行元:相模原市教育委員会キャリア教育推進チーム / 令和6年12月発行 No.3

「キャリア・パスポート」の活用について～2学期の取組から～



学ぶことと自己の将来とのつながりを見通すための学びをつなぐツールが「キャリア・パスポート」です。自分のよさや他者のよさに気付けるよう、「学級活動(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」の時間で活用しています。

学期初めには、めざす姿を明確にし、目標をもちます。学期末には、学校行事等や学期全体を通して、どのようなことを学んだか振り返りながら、自己を見つめ、これからにつなげたいことなどを記録します。

子どもたちは、学校行事や、学期ごと、1年間を通して、これまでの学びを振り返って、学んだことやこれからにつなげたいことなどを書きます。教師や保護者、地域の方々など、周りの方の温かな関わりや励ましによって、子どもたちの自己肯定感も高まっていくものと考えられます。そして、子どもたちの「学びの足跡」を次の学年へ小学校から中学校、高等学校へとつないでいきます。

小学校1年生の取組

「なりたい姿」を具体的にイメージしつつ、意思決定、実践、次へつなげる過程を大切にしています

学級活動(3)「2がっきにがんばること・できるようになりたいことをきめよう」
～小学校1年生の取組～



1学期にがんばったことを振り返る場面

1学期とくらべてできるようになったことはあるかな？

べんきょうができるようになった。

2学期もできるようになったことがいっぱいあります。例えば、国語の勉強だったら、みんな、カタカナもやってるよね。できるようになること、たくさんありそうだね。

はなしがきけるようになった。



友だちと話しながらかえます

○べんきょうをがんばりたい。もっとできるようになりたいから！
○そうじをがんばりたい。みんなとやるのがたのしいから！
○わたしはずこうをがんばりたい。だいすきだから！

友だちと話しながらかえた後、全体でそれぞれ子どもたちからの発表がありました。その後、がんばりたいことを子どもたちが理由を含めてさらに「キャリア・パスポート」に記入していきます。

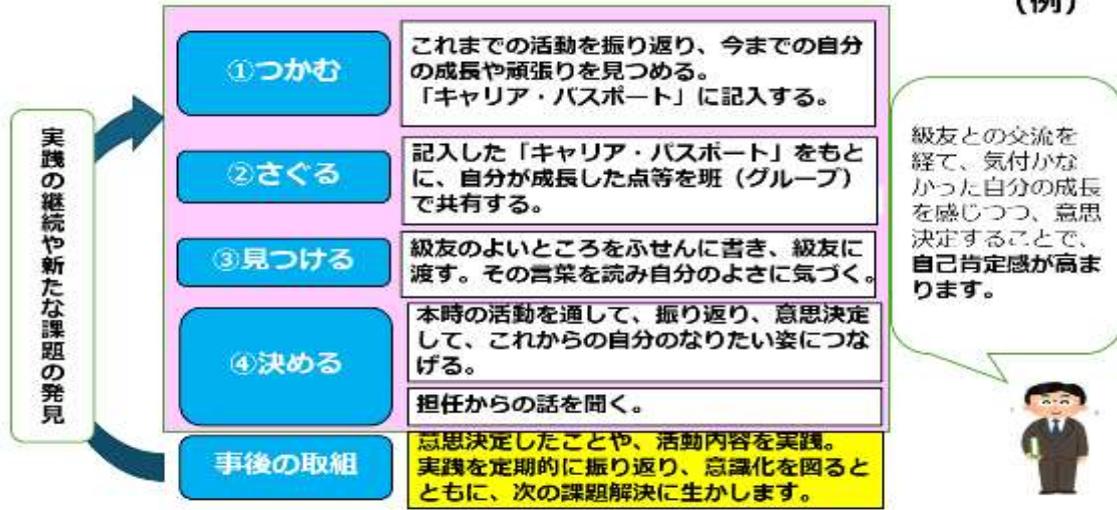
「2つ書いてもいい？」「まって～！もっと書きたい！」

こんな声があふれる中、先生は最後にこのように話しました。「2学期がんばる気持ち、増えた人！楽しみながら学校生活を送っていきましょうね。」

がんばりたいという思いをたくさんふくらませた上で、友だちと意見交流し、自分の考えをまとめ、意思決定につなげていました。

めざす自分の姿に向けて、級友と交流しながら、振り返り、意思決定

(例)



学級活動（3）では、めあてに基づく振り返り、仲間との意見交流、意思決定し、次の取組につなげます。

中学校2年生の取組

【学級活動（1）ア 学級における生活上の諸問題の解決】
（関連：学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現）
「2学期を振り返って」 ～中学校2年生の取組～



2学期を振り返り「キャリア・パスポート」を見ながら自分の成長を班で発表する場面

2学期を振り返って、個人の振り返りと集団の振り返りを行います。班になって、自分の成長を振り返ってみましょう。

友だちと勉強を教え合うことができた。

部活動に休まず参加できた。

生徒会活動がんばっています。

2学期の個と集団の成長を振り返り、3学期以降につなげよう！

ここからは、学級目標の達成度と、学級のよかったところを班で共有し、後で学級で共有していきます。

ここからは議長を中心に進んでいきました。

班活動のとき、いい意見を共有できていた。

友だちと勉強を教え合うことができた。

他の人のことを考えて行動できるところはいいところだけ…

午後の授業のメリハリをつけていこう。切り替えよう！



議長を中心にまとめます



先生のお話で価値付けます

班で学級のよかったところについて話し合い共有した後、3学期や進級に向けて3組がさらにレベルアップするために必要なことについても、班で話し合い、学級で共有しました。これから学級のみんまでがんばっていききたいことや自分のがんばりたいことについて、改めて見つめなおす機会となりました。

先生は最後にこのように話しました。

「2学期の3組の学級目標の達成度も1学期に比べて、上がりました。よかったところを見つめつつ、3組がさらによくなるために考えたことを、3年生に向けて、これからの学校生活にいかしていこう。」

「キャリア・パスポート」を書くことにとどめず、学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動で活用したりすることが大切です。

これから次年度の計画を立てる時期となりますが、子どもたちが自分や仲間の成長を見つめる場面として、学校の実態に応じ、学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現を効果的に位置付けてください。